

大野重方二階。借受ケ争議團事務所トシ対策協議中
十月十日六日夜別記ノ如ク印刷物ヲ夜陰ニ来シ
場附近民家ニ配布セリ

石及中(道)報 候也

取貝明なる町民大衆に

許し!!!

親愛なる町民大衆諸賢、い吹き荒す恐慌の嵐の渦巻、ドン底に赤々無産労働大衆は今日
の生活の糧のため、明日のパンの爲め、如何に窮乏ととして暗く不安な気持ちで毎日を送つておる事
一か月の内にまはは生きこわく死を待たせられ、死物狂に凡カク苦痛や嘲罵や奴隷視や牛馬以上
の劣を忍んで懸命に働つておるのを俺達はたゞ様な状態で取りも劣悪なる労働条件の元で甘く
して福地硝子生地工場本店に横暴を搾取と酷使の鞭を雨に打ち下され、おれ下う屋敷に傷つて
来たのだ然しおれども俺達の生活権はいつでも取り戻され、口何故かおれは正吉町に三六
の権利あり労働賃銀が何時でも満足に勤定日に支払はれた事はなかつた、勘定日俺達三六
の袋を待て居るいつになつても拂はない知らぬ顔しおの堪えかねて憤り出すと仕方なしに
那人的福地工場管理人秋野武雄は横暴にも掛高員を取れなう人だ、もう少し待て、不敵
な返事は是か毎度繰り返され、去る九月二十日の勘定もやはり仕事はなかつた一日延び二日延び
三日には必ず拂はと言つた一同は仕事を終へ、こから夜中十二時半まで待たないが遂に夜中
来らなかつた不安の叫び四日の朝とらうたまだ来ない俺達は仕事を止めて、あつた物、休
仕事場にぼんやり待つて居た所が九時頃、来てみんを三階へ呼び上せしめて二日や三日と
か懸れたと言ふ仕事は定めてくれなうた、かこの不景気に主人の都合も少しは考へろ、不人情